

秋田工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)	授業科目	建築系演習 I		
科目基礎情報							
科目番号	0012		科目区分	専門 / 必修			
授業形態	演習		単位の種別と単位数	履修単位: 1			
開設学科	環境都市工学科		対象学年	4			
開設期	後期		週時間数	2			
教科書/教材	教科書: 「コンパクト設計資料集」日本建築学会編 丸善, 「初めて学ぶ建築製図」建築のテキスト編集委員会 学芸出版社, その他: 必要資料を適宜配布する。						
担当教員	加藤 一成						
到達目標							
1. 適切な図面表記を用いて, 計画意図を適切に表現できること. 2. レイアウトなどを加味した緻密な計画と完成度の高いプレゼンテーションができるようになり, 設計競技に応募できること.							
ルーブリック							
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安		
評価項目1	適切な図面表記を用いて, 計画意図を適切に表現できる。		図面表記を用いて, 計画意図を表現できる。		図面表記を用いて, 計画意図を表現できない。		
評価項目2	レイアウトなどを加味した緻密な計画と完成度の高いプレゼンテーションができるようになり, 設計競技に応募できる。		レイアウトなどを加味した計画とプレゼンテーションができるようになる。		レイアウトなどを加味した計画とプレゼンテーションができない。		
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要	日常的に慣れ親しんでいる公共施設を対象に, 課題の意図をよく理解し, 必要な機能や面積の配分, 構造などの企画を行なう。その上で, 機能や空間構成, 利便性を考慮した設計と表現手法を修得する。						
授業の進め方・方法	課題の最初に授業を行ない, その後, 演習形式を中心に行う。必要に応じて, レポート, エスキースの提出など, 進行状況が把握できるものの提出を求める。提出物が合格基準に達しない場合, 再提出を課すことがある。						
注意点	合格点は60点である。各課題の評価は, 最終提出物を全体の70%, 中間提出物を30%とする。特に, レポート, エスキースや課題の未提出者は単位取得が困難となるので注意すること。						
授業計画							
		週	授業内容	週ごとの到達目標			
後期	3rdQ	1週	ガイダンスおよび課題説明	ガイダンスおよび課題が理解できる。			
		2週	必要機能や面積、構造の検討(1)	必要機能や面積、構造の検討ができる。			
		3週	必要機能や面積、構造の検討(2) ※レポート提出	必要機能や面積、構造の検討の上, レポートが提出できる。			
		4週	エスキース(1)	エスキースができる。			
		5週	エスキース(2)	エスキースができる。			
		6週	エスキース(3) ※平面図提出	平面図が提出できる。			
		7週	エスキース(4)	エスキースができる。			
		8週	エスキース(5) ※断面図・立面図提出	断面図・立面図が提出できる。			
	4thQ	9週	中間審査用まとめ (1)	中間審査用のまとめが作成できる。			
		10週	中間審査用まとめ (2) ※中間審査提出	中間審査用のまとめを作成し提出できる。			
		11週	修正案チェック・プレゼンボード作成(1)	修正案のチェック及びプレゼンボード作成ができる。			
		12週	プレゼンボード作成(2)	プレゼンボード作成ができる。			
		13週	プレゼンボード作成(3)	プレゼンボード作成ができる。			
		14週	プレゼンボード作成(4) ※最終提出	プレゼンボード作成ができ, 最終提出ができる。			
		15週	プレゼンテーション	プレゼンテーションができる。			
		16週	講評及びまとめ, アンケート				
モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標							
分類	分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週		
評価割合							
	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	0	5	0	0	0	95	100
基礎的能力	0	0	0	0	0	35	35
専門的能力	0	0	0	0	0	40	40
分野横断的能力	0	5	0	0	0	20	25